

## GAP認証などを通じた経営強化に取り組んでいます

三重県尾鷲市の平山農園(株)の代表取締役平山厚さん(68歳)は、平成20年に紀北町役場を早期退職し、甘夏2haの経営を母親から継承、平成24年には近隣の樹園地を引き受け、現在は甘夏5ha、レモン20a、ライム10aを経営されています。平成30年1月に販路拡大の一環でGAP認証を受けられました。この度、その契機、効果などを伺いました。

平成24年に樹園地所有者らと会社を設立し、自分と正社員1名は常勤、4ヶ月間はパート5名により経営を行っていますが、県内スーパー等への直接販売、通信販売、加工会社への原料出荷、甘夏ジュースの委託生産・販売も行いながら、生産量の増加に伴い販路開拓にも努めてきました。

平成29年7月「三重県GAP推進大会」に出席し、販路開拓でのGAPの必要性を強く認識しました。(株)百五銀行と(株)百五総合研究所(以下、百五総研)主催のGAP関連セミナーに参加し、その後も、補助事業申請などでアドバイスを受け、ASIAGAPの取得を目指しましたが、無農薬栽培の県認定を受けていたこともあり、円滑に認証を得ることができました。認証を含めた経費は、集荷と選果の場所を区別する壁や作業室の冷房の設置など約190万円でした。

GAP認証に対応をした結果、以前は年数件の作業中の事故が無くなったこと、商品の腐敗の苦情も皆無になり、労働安全や品質管理で大きな効果が出ています。また、認証を受けたことによる百五総研の情報誌への掲載やNHKでの紹介などの効果もあり、出荷先スーパー等の価格交渉では販売価格が3~4%のアップにつながりました。

現在、新たな取引業者からの問い合わせがあり、取引開始の準備段階にあります。また、本年から、甘夏には、GAP認証農場の説明も添付チラシに入れるなど、今後の販路拡大につなげていきたいと考えています。



中央が平山氏



平山農園  
のURL



ASIAGAP認証農場の  
チラシと甘夏